

『ある精肉店のはなし』上映会 +ワークショップ「映画から考える生き方の倫理学」



はなぶさ 瀬瀬あや監督

自由学園卒業。2001年ポレポレタイムス社に入社。本橋成一監督の『アレクセイと泉』（'02年）『ナミイと唄えば』（'06年）の映画製作に携わる。'10年に映画『祝の島』を初監督。シチリア環境映像祭で最優秀賞受賞。

日時：2016年12月10日（土）13時～17時
場所：國學院大學渋谷キャンパス
130周年記念5号館5301教室

タイムテーブル

13:00 映画上映開始
15:00 ワークショップ（参加者との質疑応答）
ゲスト：瀬瀬あや（映画監督）
質問：奥田太郎（南山大学／応用倫理学）
吉川孝（高知県立大学／現象学）
司会：小手川正二郎（國學院大學／現象学）
*入場無料・事前登録不要

ドキュメンタリー映画も倫理学もともに、私たちが生きる現実社会で生じるさまざまな問題に向かい合い、広い意味での「思考」をしています。とりわけ優れたドキュメンタリー映画は、現実の問題への特定の立場を主張するのではなく、そうした問題が生じている場所に生きる人びとの生き方に目を向けて、その背景や歴史やさらに深い問題などを抉り出すような思考を展開しています。ワークショップでは、大阪の精肉店を営む家族の暮らしを追った『ある精肉店のはなし』を上映後、瀬瀬あや監督をお招きし、人々が生きる現実の問題に対して映画を通じてかかわる姿勢についてのお話をうかがったうえで、倫理学を専門とする研究者も交えて、生き方をめぐる思考を展開するための手がかりを考察します。

科研費・若手研究(B)「フランス現象学の新局面とその展開可能性」(課題番号:26770013)プロジェクト
問い合わせ: kotegawa@kokugakuin.ac.jp